

## 地域スポーツクラブマネジャーの日常生活経験

——ゴールデンウィークと通常ウィークの比較——

遠藤晃弘\*

### The Daily Experiences of Community Sports Club Manager :

Comparative study of the “Golden Week” holidays and a usual week

Akihiro Endo

#### Abstract

The Purpose of this study is to elucidate the community sports club manager's daily life experiences from a subjective approach. The research was conducted as follows. The instruments were based on the Experience Sampling Method (ESM). ESM is a very effective method for understanding the daily experiences of people. ESM monitors not only what people do during their everyday lives, but also measures their mood and thoughts in their daily activities. The participants were asked to carry a portable terminal unit and a booklet of survey sheets from 7:00 a.m. to 8:59 p.m. during the 7 days of the investigation (Golden Week: April 29~ May 5, Usual Week: July 8~15, 2010). When they received a “call” from a researcher, they had to fill out the survey sheet as soon as possible. The “call” was made 7 times a day. The analysis showed some interesting facts as follows. 1) The activities they engaged in were “servicing,” “office work,” “watching TV,” and “work-related tasks.” Club management was the nucleus of their lives. 2) The moods they expressed the most included “stable,” “satisfied,” “delight,” and “busy.” 3) The thoughts related to managing a club were “wanted to continue,” “not intense,” “other purpose,” and “challenging.” In order to heighten the validity of this study, I wish to continue this research.

#### 1. はじめに

観光やスポーツをはじめ、レジャーの楽しみ方のスタイルが多様化してきている。観光を例にすると、これまでは、商品化された観光を選択して買うというスタイルが主流だったが、これからは、観光地を観て回るだけの「サイトシーイング」から、実際に経験や体験ができる「レジャー&ツーリズム」に変化していくと考えられている。つまり、自分で気に入ったもの

---

\* 東海大学観光学部観光学科

をつくって、自分で消費していくというスタイルに変化している。これをA. トフラーは、生産者（プロデューサー）と消費者（コンシューマー）からの造語で、“生産消費者＝プロシューマー”と呼んでいる<sup>1)</sup>。

レジャー白書2010<sup>2)</sup>は、今後10年の余暇の需給構造の変化を展望し、「特に高齢者層で、“社会や人のために役立つこと”へのニーズが高まる」と推測している。さらに、「“余暇＝オフ”といった単純な切り分けが難しくなり、“オン”と“オフ”がボーダレス化する方向で変化が進む」としている。

本研究者は、地域スポーツクラブ（以下クラブと略す）の運営を熱心に行っているクラブマネジャーとの交流を通して、自分たちで気に入ったクラブをつくり、そこで自分たちが楽しむという姿を目の当たりにしてきた経験がある。彼らは、仕事とレジャーの境界がなく、生活をまるごと楽しんでいるかのように感じた。クラブとは、子ども・高齢者の体力向上や地域教育力の向上を目的として、地域住民が自主的に運営している多種目・多世代型のスポーツクラブである。文部科学省は、平成12年からこのようなクラブを総合型地域スポーツクラブとして、スポーツ振興基本計画に位置づけ、全国で育成を進めている。クラブマネジャーとは、そのクラブを運営する中心人物のことである。クラブマネジャーは、プロシューマーや社会や人のために役立つ活動を実践しているひとつの例として考えることができる。彼らの生活を紐解くことは、好きなことで、生計を立て、かつ地域社会へ貢献していくレジャーのスタイルを展望する上の重要な手がかりとなるだろう。

本研究は、クラブマネジャーたちが、いったいどのような生活をしているのか、生活中の多くの時間をクラブ運営に費やすことが彼らの生活や気分になどのような影響を与えているのか。その実態を明らかにするため、行為者の心理面を含め、生活経験をまとめて捉える Experience Sampling Method（経験標本抽出法、以下 ESM と略す）を用いて、データを収集し、分析することとした。

## 2. 研究の目的

本研究の目的は、これからの余暇の需給構造の中で存在感を高めると推測されている、仕事とレジャーの境界がない生活スタイルの一例として、クラブマネジャーの日常生活経験を主観的アプローチで把握することを目的としている。彼らが「何をして」「どのような気分」で過ごしているのかを把握する。全体傾向を把握し、さらに、連休中に彼らの生活に変化が見られるのかどうかを明らかにするため、ゴールデンウィーク（4月末～5月上旬の大型連休の1週間）と通常ウィーク（祝日等を挟まない一般的な1週間）別で比較・検討を加え、その特徴を把握する。具体的には、以下の視点から分析する。

### (1) クラブマネジャーの活動の実態

クラブマネジャーは、「何をして」で過ごしているか。本当に、仕事とレジャーの境目がない生活をしているのか。行っていた「活動」の全体傾向を把握し、ゴールデンウィークと通常

ウィーク別でどのような違いが見られるか、比較・検討を加えた。

## (2) クラブマネジャーの気分の実態

クラブマネジャーはどんな「気分」で過ごしているか。「あていーいらいら」「たいくつーわくわく」「しあわせーふしあわせ」などの気分を表す10項目を用いる方法と、それら10項目の気分を主成分分析によって総合化する方法を用いて気分の実態を把握する。クラブマネジャーの気分が一週間のうちでどのように変化するのかその実態を把握する。さらにゴールデンウィーク・通常ウィーク別で比較・検討を加える。

## (3) クラブ運営の経験に対する認識

クラブマネジャーはクラブ運営をどのように認識しているのか。活動に対する認識の仕方を、継続欲求度、選択の自由性、活動の真剣度、動機の内発性、活動の難易度、遊びか、レジャーかの項目で把握する。

# 3. 調査方法、調査の実施

## (1) 調査法

研究の目的を明らかにするため、ESMを用いた。ESMは、人々が日常生活の中でどのような経験をしているかを、その時の主観的な心理状態と合わせて測定するために、1970年代後半に北米でCsikszentmihalyi, Larsonらによって開発された。これは、「いつ」「どこで」「だれと」「なにを」「どんな気分で行っているのか」をまとめて捉える方法である。本研究ではその後、Larson, 西野によって、日本人用に修正されたESM<sup>8,12)</sup>を用いた。

具体的には、まず調査協力者1人に腕時計と調査票1冊を配布し、1週間の調査期間中、常に携帯してもらった。そして、それぞれの調査協力者に対して腕時計のアラームで呼び出しを行い、それに気づいた調査協力者に、その時の経験などをできるだけ早く調査票に記入してもらった。質問項目は「呼び出しを受けた時刻」、「回答を記入した時刻」、「どこにいたのか」、「誰といたのか」、「何をしていたのか」、「どんな気分だったか」などである。調査時間帯は、7:00~21:59までの間とし、2時間ごとのランダムな時間に1回、1日合計7回の呼び出しを行った。

## (2) 調査協力者

調査協力者は、神奈川県内にある地域スポーツクラブに所属し、中心となってクラブ運営を行っているクラブマネジャー5名である。年齢は50~60歳代で、全員、(財)日本体育協会公認のクラブマネジャー資格を有している。この資格を有するものは2009年10月現在で全国に133名いる。本研究者が、個別にアプローチし、任意に選出した。5名が所属するクラブの概要は表1のとおりであり、いずれも、文科省が政策として設立を推進している「総合型地域スポーツクラブ」として神奈川県立体育センター（広域スポーツセンター）に届けられている住

民主体の非営利組織である（3名のクラブはNPO法人）。クラブの会員規模は約100名～2400名、年間の予算規模は4,500千円～150,000千円である。5名のうち、D氏を除いては、ほぼ毎日クラブの運営にかかわっており、そのうち3名はクラブから月に20万円以上の収入がある。詳細は、表1のようである。

表1 調査協力者の概要

| No. | 仮名 | 年齢  | 性別 | 職業                 | クラブに関すること |       |      |                |                |                   |
|-----|----|-----|----|--------------------|-----------|-------|------|----------------|----------------|-------------------|
|     |    |     |    |                    | 法人格       | 会員規模  | 種目数  | 年間予算<br>規模(千円) | 運営に携わる<br>頻度/週 | クラブからの<br>収入      |
| 1   | A氏 | 68歳 | 男性 | クラブマネジャー           | なし        | 750名  | 16種目 | ¥14,000        | 7回             | 20万円以上            |
| 2   | B氏 | 52歳 | 男性 | クラブマネジャー           | NPO法人     | 100名  | 4種目  | ¥10,000        | 6回             | 10万円以上～<br>20万円未満 |
| 3   | C氏 | 58歳 | 男性 | クラブマネジャー<br>(副理事長) | NPO法人     | 2400名 | 26種目 | ¥150,000       | 6回             | 20万円以上            |
| 4   | D氏 | 52歳 | 女性 | クラブマネジャー<br>(主婦)   | なし        | 170名  | 8種目  | ¥4,500         | 2回             | 5万円未満             |
| 5   | E氏 | 50歳 | 男性 | クラブマネジャー<br>(理事長)  | NPO法人     | 300名  | 5種目  | ¥20,000        | 6回             | 20万円以上            |

### (3) 調査期間

調査は、表2のように2期間にわたって実施した。まず、ゴールデンウィークの期間（調査期間①）である2010年4月29日（木）～5月5日（水）の1週間連続して行った。続いて、通常ウィーク（調査期間②）の期間として2010年7月8日（木）～7月14日（水）の1週間連続して実施した。合計2週間分のデータ収集を行った。

表2 調査期間

|                    | 木             | 金     | 土     | 日     | 月             | 火             | 水             |
|--------------------|---------------|-------|-------|-------|---------------|---------------|---------------|
| 調査期間①<br>ゴールデンウィーク | 4月29日<br>昭和の日 | 4月30日 | 5月1日  | 5月2日  | 5月3日<br>憲法記念日 | 5月4日<br>みどりの日 | 5月5日<br>こどもの日 |
| 調査期間②<br>通常ウィーク    | 7月8日          | 7月9日  | 7月10日 | 7月11日 | 7月12日         | 7月13日         | 7月14日         |

### (4) 調査票

調査票は、① Experience Sampling Form（経験標本記録表、以下ESFと略す）、② Experience Diary Form（一日の経験記録表、以下EDFと略す）、③ Subject's Information Form（調査協力者の情報調査票、以下SIFと略す）の3種類を用いた。ESFとEDFは腕時計とともに常に携帯してもらうため、合わせて1冊の調査票になっている。ESFは腕時計のアラームが鳴ったら、「いつ」「どこで」「だれと」「なにを」「どんな気分で」などの質問の答えを記入しても

(表)

**ESM調査票**

期日： 月 日      アラームが鳴った時刻： 午前/午後 時 分  
調査票への記入時刻： 午前/午後 時 分

**アラームが鳴った時：**  
★ **あなたはどこにいましたか？**  
( ) 一人だけ ( ) 母 ( ) 父 ( ) 兄弟姉妹 ( ) 祖父母 ( ) おじおば  
( ) 先生・コーチなど ( ) ともだち  
( ) 知らない人 ( ) その他 (具体的な)

★ **なにをしていましたか？**  
もし、テレビを見たり、読書をしていたり、食事をしていたり、そのほか、テレビ画面や内容も簡単に書いて下さい。  
おもにしていた活動：例：夕食を食べていた      ながら活動：例：テレビをみながら

★ **なぜあなたはそれをしていましたか？**  
( ) しなければならぬから ( ) したいから ( ) ほかにすることがないから

★ **今、していたことではなくて、**  
**本来は、ほかのことをしていたかったのですか？**  
( ) いいえ ( ) はい      ーそれは何ですか？

★ **どんな気分でしたか？**  
(次のそれぞれの気分について、もっともよくあてはまるものからしるをつけて下さい)  
① まさにそのとおり    ② そのとおりの    ③ まあそのとおり    ④ どちらともいえない  
⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

(1) あんてい① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ いらいら  
(2) たいくつ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ わくわく  
(3) しあわせ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ふしあわせ  
(4) いやな① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ うれしい  
(5) じゆう① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ そくばく  
(6) きんちよう① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ リラックス  
(7) まんぞく① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ふまんぞく  
(8) おだやか① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ふあん  
(9) いそがしい① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ひ ま  
(10) おもしろい① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ さわやか

(裏)

1. あなたは、どのくらい、「ゆとり」(こころの余裕など)を感じていましたか？  
感じていた① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ 感じていなかった

**アラームが鳴った時まで、おもにしていた活動について：**  
1. その活動を、もっと続けたいですか、それとも、やめたいですか？  
続けたい① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ やめたい

2. その活動は、自分からずんでやりましたか、それとも、ほかの人にいわれてやりましたか？  
自分から① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ほかの人にいわれて

3. その活動を、どのくらい真摯にやっていましたか？  
真摯だった① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ 真摯ではなかった

4. その活動は、活動そのものがやりたかったからですか、それとも、ほかの目的のためですか？  
それがやりたかった① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ほかの目的のため

5. その活動は、あなたにとっては、簡単にできることですか、それとも、努力(チャレンジ)を必要とするようなことですか？  
簡単だ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ 努力が必要だ

6. その活動は、レジャーだと思いますか、それとも、レジャーとは別のものだと思いますか？  
レジャーだ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ レジャーとは別だ

7. その活動は、遊びだと思いますか、それとも、遊びとは別のものだと思いますか？  
遊びだ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ 遊びとは別だ

8. その活動は、レクリエーションだと思いますか、それとも、レクリエーションとは別のものだと思いますか？  
レクリエーションだ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ レクリエーションとは別だ

9. その活動は、あなたに「ゆとり気分を育てくれるようなことだ」と思いますか、それとも、「ゆとり気分を育ててくれるようなこととは別のことだ」と思いますか？  
ゆとりを育ててくれる① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ゆとりを育ててくれるようなこととは別だ

図1 Experience Sampling Form (経験標本記録表)

らうもので、1日7回、1週間で合計49回の回答ができる。EDFは1日の終わりにその日のESFの記入状況を自己評価する項目に答えるもので1日1回、1週間で合計7回の回答ができる(1日の大まかな流れを書く欄もある)。さらにSIFは調査協力者の性別、家族構成、趣味、生活の意識レベルなどの情報を得るためのアンケートでESM調査前に実施した。

## (5) データの整理と分析

調査票回収後、コード化、スコアリング、スクリーニングの3つを行った。

### 1) コード化

ESFの自由記述欄への回答(活動や場所)のデータは、NHKの生活時間調査と、余暇開発センターの活動分類を参考に西野らが作成したコード表にしたがってコード化を行った。

### 2) スコアリング

ESF(図1)の中にある、7段階尺度の回答のデータはそのまま数値を入力した。気分の質問項目では、「安定」「わくわく」などのいわゆるポジティブな方向に「まさにそのとおり」と答えた回答を7点、逆に「いらいら」「たいくつ」などのネガティブな方向に「まさにそのとおり」と答えた回答を1点とした。行っていた活動をどう考えていたかへの回答も気分の質問項目と同様に、ポジティブな方向に「まさにそのとおり」と答えた回答を7点、ネガティブな方向に「まさにそのとおり」と答えた回答を1点とした。

### 3) スクリーニング

調査の信頼性を高めるために不正確なデータのスクリーニングを実施した。スクリーニングは、もし、ESF への記入が全49回中10回以下であったら、その人のデータはすべて用いないというプロセスで行った。このスクリーニングの結果、409/490 (83.47%) のデータを分析の対象にした。

## 4. 結果及び考察

### (1) 地域スポーツクラブマネジャーは「どのような活動」をしているか

#### 1) 全体

クラブマネジャーの日常生活経験は、睡眠や食事などの「生活維持行動」、コミュニケーションや移動などの「社会生活行動」、テレビ・音楽の視聴や休息・リラックスなどの「日常的レジャー」、クラブ運営に関わる「労働活動」などで構成されている。外出・スポーツ・野外活動といった「非日常的レジャー」は全体の6.15%と少なかった。

報告された行動のうち、多かったのは、サービス (14.96%)、一般事務作業 (12.50%)、テレビ・ラジオの視聴 (12.30%)、仕事全般 (9.43%)、移動 (8.61%)、食事 (6.56%) であった。サービス、一般事務作業、仕事全般はいずれもクラブの運営に携わっている時間帯であり、その割合は、38.32%にのぼる。まさにクラブマネジャーにとってクラブ運営は、日常生活の中心的な活動であるといえる。

#### 2) ゴールデンウィーク・通常ウィーク別

ゴールデンウィークと通常ウィークで、活動に有意な差が確認できたのは、ミーティングくらいであった。ゴールデンウィークのような大型連休にミーティングが少ないという結果は比較的受け入れやすい。それ以外の活動項目については、ゴールデンウィークと通常ウィークで、差が認められていない。つまり、クラブマネジャーは、ゴールデンウィークと通常ウィークで、ほとんど変わらない活動を行っているという特徴が明らかになった。

### (2) クラブマネジャーは「どんな気分」でいるか

クラブマネジャーの日常気分がどのようになっているかを検討するためには、「あんてーいらいら」「たいくつーわくわく」「しあわせーふしあわせ」などの気分を表す10項目を用いる方法と、それら10項目の気分を主成分分析によって総合化し、気分全体の傾向を表す総合指標として第1成分得点を用いる方法の2つがある。

#### 1) 気分の主成分分析

表4は、10項目の気分を主成分分析した結果である。第一主成分は、固有値5.64、寄与率56.36%であった。すなわちデータの約56%が第一主成分で説明できる。第一主成分の係数はすべてプラスであり、10の変量もほぼ同程度であった。したがって、10の変量の中でどの変量

表3 クラブマネジャーの日常生活経験：活動

| 項 目         | 合 計 |        | G W |        | N W |        | X <sup>2</sup> |    |
|-------------|-----|--------|-----|--------|-----|--------|----------------|----|
|             | n   | %      | n   | %      | n   | %      |                |    |
| 生活維持行動      | 62  | 12.70  | 36  | 13.53  | 26  | 11.71  | 0.19           |    |
| 睡眠・うたた寝     | 13  | 2.66   | 10  | 3.76   | 3   | 1.35   | 1.81           |    |
| 食事          | 32  | 6.56   | 15  | 5.64   | 17  | 7.66   | 0.48           |    |
| 身の回りの用事     | 13  | 2.66   | 9   | 3.38   | 4   | 1.80   | 0.62           |    |
| その他         | 4   | 0.82   | 2   | 0.75   | 2   | 0.90   | 0.10           |    |
| 社会生活行動      | 99  | 20.29  | 60  | 22.56  | 39  | 17.57  | 1.25           |    |
| コミュニケーション   | 22  | 4.51   | 15  | 5.64   | 7   | 3.15   | 1.15           |    |
| 家事手伝い       | 27  | 5.53   | 18  | 6.77   | 9   | 4.05   | 1.16           |    |
| 日常の買い物      | 6   | 1.23   | 4   | 1.50   | 2   | 0.90   | 1.44           |    |
| 移動          | 42  | 8.61   | 22  | 8.27   | 20  | 9.01   | 0.01           |    |
| その他         | 2   | 0.41   | 1   | 0.38   | 1   | 0.45   | 0.34           |    |
| 日常的レジャー     | 110 | 22.54  | 70  | 26.32  | 40  | 18.02  | 3.34           |    |
| テレビ・ラジオの視聴  | 60  | 12.30  | 34  | 12.78  | 26  | 11.71  | 0.04           |    |
| 読むこと        | 23  | 4.71   | 15  | 5.64   | 8   | 3.60   | 0.68           |    |
| 音楽活動        | 1   | 0.20   | 0   | 0.00   | 1   | 0.45   | 0.01           |    |
| 運動          | 1   | 0.20   | 1   | 0.38   | 0   | 0.00   | 0.01           |    |
| 創ること        | 1   | 0.20   | 1   | 0.38   | 0   | 0.00   | 0.01           |    |
| 休息・リラックス    | 10  | 2.05   | 7   | 2.63   | 3   | 1.35   | 0.44           |    |
| その他         | 14  | 2.87   | 12  | 4.51   | 2   | 0.90   | 4.31           | *  |
| 非日常的レジャー    | 30  | 6.15   | 22  | 8.27   | 8   | 3.60   | 3.56           |    |
| 外出          | 6   | 1.23   | 2   | 0.75   | 4   | 1.80   | 0.40           |    |
| スポーツ        | 20  | 4.10   | 16  | 6.02   | 4   | 1.80   | 4.26           | *  |
| 野外活動        | 4   | 0.82   | 4   | 1.50   | 0   | 0.00   | 1.76           |    |
| 労働活動        | 187 | 38.32  | 78  | 29.32  | 109 | 49.10  | 11.84          | ** |
| 一般事務作業      | 61  | 12.50  | 31  | 11.65  | 30  | 13.51  | 0.20           |    |
| サービス        | 73  | 14.96  | 34  | 12.78  | 39  | 17.57  | 1.55           |    |
| 接客          | 11  | 2.25   | 4   | 1.50   | 7   | 3.15   | 0.82           |    |
| 会場準備・整理・片付け | 20  | 4.10   | 9   | 3.38   | 11  | 4.95   | 0.40           |    |
| 運動指導        | 41  | 8.40   | 20  | 7.52   | 21  | 9.46   | 0.34           |    |
| その他         | 1   | 0.20   | 1   | 0.38   | 0   | 0.00   | 0.01           |    |
| 仕事全般        | 46  | 9.43   | 13  | 4.89   | 33  | 14.86  | 11.74          | ** |
| 会議          | 10  | 2.05   | 4   | 1.50   | 6   | 2.70   | 0.36           |    |
| ミーティング      | 36  | 7.38   | 9   | 3.38   | 27  | 12.16  | 11.48          | ** |
| その他         | 7   | 1.43   | 0   | 0.00   | 7   | 3.15   | 6.33           | *  |
| 合 計         | 488 | 100.00 | 266 | 100.00 | 222 | 100.00 | 0.00           |    |

注) \* p&lt;.05 \*\* p&lt;.01 \*\*\* p&lt;.001

が大きくなっても、この主成分の値は大きくなる。つまり、第一主成分が、全体的な気分を示していると判断した。第二主成分は、固有値1.20、寄与率12.01%であった。累積寄与率が68.37であったことから、第一・第二主成分で、全体の約68%を説明していることになる。第二主成分の係数は、「わくわく－たいくつ」「うれしい－いやな」「まんぞく－ふまんぞく」「さわやか－おもくるしい」がプラス、「じゆう－そくばく」「リラックス－きんちょう」「ひま－いそがしい」でマイナスとなる。「あんてい－いらいら」「しあわせ－ふしあわせ」「やすらか－ふあん」はほとんどゼロであり無関係といえる。したがって第二主成分の値は、「わくわく」「きんちょう」「いそがしい」といった気分で大きく、「たいくつ」「リラックス」「ひま」

といった気分で小さくなる。つまり、第二主成分は気分的な余裕があるかないかを示す主成分といえる。これらのことから、本研究では、第一主成分得点を気分の全体傾向として用いることとした。

表4 気分の主成分分析

| 主成分           | 固有値   | 固有値の差 | 寄与率(%) | 累積寄与率(%) |
|---------------|-------|-------|--------|----------|
| 第1主成分         | 5.64  | 4.44  | 56.36  | 56.36    |
| 第2主成分         | 1.20  | 0.51  | 12.01  | 68.37    |
| 気分            | 第1主成分 | 第2主成分 |        |          |
| あんてい — いらいら   | 0.79  | -0.06 |        |          |
| わくわく — たいくつ   | 0.61  | 0.56  |        |          |
| しあわせ — ふしあわせ  | 0.85  | 0.08  |        |          |
| うれしい — いやな    | 0.85  | 0.19  |        |          |
| じゆう — そくばく    | 0.83  | -0.20 |        |          |
| リラックス — きんちょう | 0.58  | -0.53 |        |          |
| まんぞく — ふまんぞく  | 0.79  | 0.15  |        |          |
| やすらか — ふあん    | 0.82  | 0.05  |        |          |
| ひま — いそがしい    | 0.49  | -0.68 |        |          |
| さわやか — おもくるしい | 0.81  | 0.16  |        |          |

## 2) 全体

表5は、クラブマネジャーの気分を分析したものである。気分全体の傾向を示す、総合指標の第1主成分得点は、0.74と、ややポジティブな傾向にある。

気分の10項目を見ると、「安定」「まんぞく」「やすらか」などの傾向にあるが、「ひま」ではないようだ。図1は、表5をグラフ化したものである。気分が「いそがしいーひま」の項目を除いて、全体的にポジティブな波形を見せている。

表5 クラブマネジャーの日常経験：気分（全体）

|               | 平均値  | 標準偏差 |
|---------------|------|------|
| 総合指標（第1主成分得点） | 0.74 | 0.13 |
| あんてい — いらいら   | 5.32 | 1.44 |
| わくわく — たいくつ   | 4.70 | 1.15 |
| しあわせ — ふしあわせ  | 4.95 | 1.22 |
| うれしい — いやな    | 4.93 | 1.16 |
| じゆう — そくばく    | 4.79 | 1.52 |
| リラックス — きんちょう | 4.70 | 1.59 |
| まんぞく — ふまんぞく  | 5.06 | 1.31 |
| やすらか — ふあん    | 5.28 | 1.27 |
| ひま — いそがしい    | 3.59 | 1.41 |
| さわやか — おもくるしい | 4.85 | 1.28 |

## 3) ゴールデンウィーク・通常ウィーク別

クラブマネジャーの気分をゴールデンウィーク（GW）・通常ウィーク（NW）別で見たときの第1主成分得点は、ゴールデンウィークが0.61とややポジティブで、通常ウィークは-0.66とややネガティブであった。気分の全体傾向の差が見られた。

さらに、気分の10項目でみると、図3のとおり、ゴールデンウィークの方が有意に、より「あんてい」、より「わくわく」、より「しあわせ」、より「うれしい」、より「じゆう」より「まんぞく」、より「やすらか」、より「さわやか」な気分であった。クラブマネジャーは、ゴールデンウィークだからといって「リラックス」して「ひま」な気分にはならない。

#### 4) 主な活動別

クラブマネジャーは、「労働活動（クラブ運営）」をどのような気分で行っていたのか。「日常的レジャー」と「非日常的レジャー」とを比較しながら把握した。

第1主成分得点は、「労働活動（クラブ運営）」が-0.91, 「日常的レジャー」が0.89, 「非日常レジャー」が1.60であった。「労働活動（クラブ運営）」がネガティブな傾向にあり, 「日常的レジャー」と「非日常的レジャー」がポジティブな傾向にあった。これら3つの活動中の気分は有意な差が認められた。

図4は, 3つの活動の気分得点の平均値をグラフ化したものである。

それぞれの活動を気分の10項目で見てみると, 「労働活動（クラブ運営）」は, 3つの活動中, すべての項目で平均値が低かった。「日常的レジャー」の特徴は, 3つの活動中で, 最も「リラックス」して, 「ひま」な気分であった。「非日常的レジャー」の特徴は, 3つの活動中で, 最も「あんてい」「わくわく」「しあわせ」「うれしい」「じゆう」「まんぞく」「やすらぎ」「さわやか」な気分であった。「労働活動（クラブ運営）」の特徴は, 日常的なレジャー, 非日常的なレジャーと比べると, 「きんちょう」するし「いそがしい」活動だと感じていることがわかった。余った時間にリラックスできるものを日常的なレジャーととらえており, クラブ運営はそれとは違うということが明らかになった。

#### 5) 気分の週間変動

クラブマネジャーの日常気分は, 一週間でどのように変化しているのだろうか。10項目の気分得点を用いて主成分分析を行った結果得られた第一主成分（固有値5.64, 寄与率56.36%）を, ゴールデンウイーク（GW）

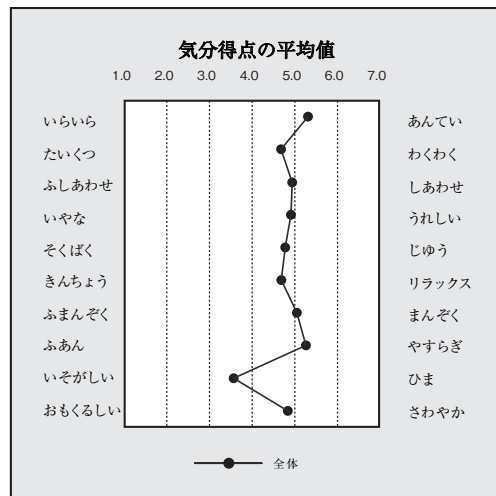


図2 気分得点の平均値（全体）

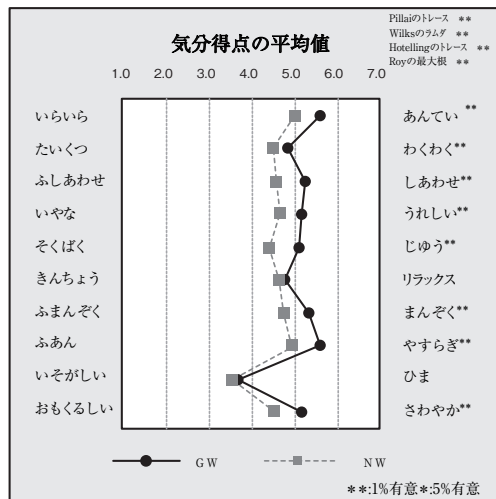


図3 気分得点の平均値（GW・NW別）

表6 クラブマネジャーの日常経験：気分(活動別)

|               | 労働活動<br>(クラブ運営) |      | 日常的<br>レジャー |      | 非日常的<br>レジャー |      | F        |
|---------------|-----------------|------|-------------|------|--------------|------|----------|
|               | 平均値             | S D  | 平均値         | S D  | 平均値          | S D  |          |
| 総合指標（第一主成分得点） | -0.91           | 2.11 | 0.89        | 2.34 | 1.60         | 2.51 | 31.95 ** |
| あてい - いらいら    | 5.12            | 1.30 | 5.89        | 1.26 | 6.07         | 1.44 | 15.55 ** |
| わくわく - たいくつ   | 4.71            | 1.01 | 4.80        | 1.23 | 5.83         | 1.21 | 13.44 ** |
| しあわせ - ふしあわせ  | 4.60            | 1.10 | 5.44        | 1.25 | 5.93         | 1.17 | 28.39 ** |
| うれしい - いやな    | 4.74            | 1.09 | 5.16        | 1.21 | 5.77         | 1.28 | 12.62 ** |
| じゆう - そくばく    | 4.35            | 1.49 | 5.42        | 1.26 | 5.77         | 1.43 | 26.85 ** |
| リラックス - きんちょう | 4.10            | 1.48 | 5.52        | 1.48 | 4.60         | 1.91 | 30.21 ** |
| まんぞく - ふまんぞく  | 4.75            | 1.25 | 5.55        | 1.26 | 5.60         | 1.59 | 15.85 ** |
| やすらぎ - ふあん    | 4.83            | 1.22 | 5.80        | 1.23 | 5.97         | 1.30 | 26.85 ** |
| ひま - いそがしい    | 3.08            | 1.15 | 4.42        | 1.31 | 3.53         | 1.50 | 40.51 ** |
| さわやか - おもくるしい | 4.64            | 1.31 | 5.02        | 1.18 | 5.93         | 1.41 | 14.29 ** |

注) \*\*:15有意 \*5%有意 (活動別) Pillaiのトレース \*\* Wilksのラムダ \*\* Hotellingのトレース \*\* Royの最大根 \*\*

と通常ウィーク（NW）の比較を行うために分けて、10項目の総合指標とした結果、週間変動は、表7・図5のようであった。

通常ウィークは、日曜日に気分がネガティブになり、月曜日にポジティブになるという波形を見ることができた。これは、イベントや試合運営の多い日曜日に気分がネガティブになり、クラブマネジャーが休みをとる月曜日にポジティブになるためだと考える。レジヤ―と仕事が一体化しているクラブマネジャーの生活にも気分のリズムがあることが明らかになった。

ゴールデンウィーク期間は、通常ウィークと似た波形が現れたが、通常ウィークより全体的にポジティブな傾向にあった。ゴールデンウィークは、通常ウィークよりミーティング等が少なかったことが、クラブマネジャーの気分全体をポジティブにしたのではないかと考える。曜日別にみると、土曜日と日曜日と火曜日に有意な違いがあった。

クラブマネジャーの生活は、“余暇＝オフ”といった単純な切り分けが難しいと考えてきたが、気分は1週間の中でリズムがあり、ゴールデンウィークは、気分がポジティブだったことがわかった。

(3) クラブマネジャーの労働活動（クラブ運営）に対する認識

クラブマネジャーが、自分たちの行っている労働活動（クラブ運営）をどのように認識しているのかについてまとめた。クラブマネジャーの主要な活動である、「日常レジャー活動」、「非日常レジャー活動」に対する認識と比較を行った。

図6を見ると、「労働活動（クラブ運営）」は「日常レジャー」「非日常レジャー」と異なる認識で活動を行っていたことがわかつ

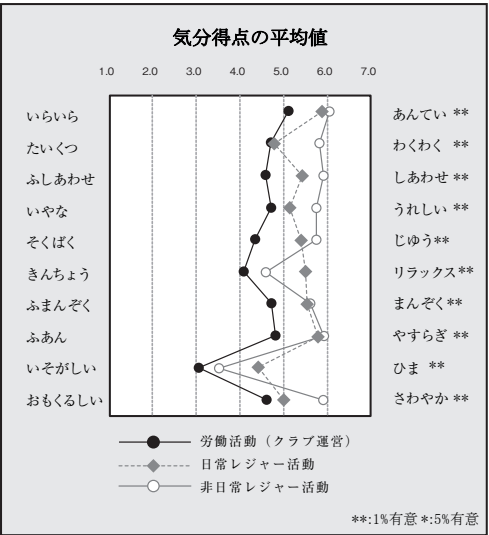


図4 気分得点の平均値（主な活動別）

表7 気分の週間変動

|                   | GW   |      | NW    |      | F     |    |
|-------------------|------|------|-------|------|-------|----|
|                   | 平均値  | 標準偏差 | 平均値   | 標準偏差 |       |    |
| 総合指標<br>(第一主成分得点) | 0.61 | 2.42 | -0.66 | 2.16 | 5.60  | ** |
| 木                 | 0.20 | 2.70 | -0.50 | 2.02 | 0.30  |    |
| 金                 | 0.37 | 2.26 | -0.72 | 1.78 | 1.39  |    |
| 土                 | 1.20 | 2.24 | -0.28 | 2.31 | 5.47  | ** |
| 日                 | 0.41 | 2.89 | -2.22 | 2.17 | 12.61 | ** |
| 月                 | 0.98 | 2.08 | 0.41  | 2.19 | 0.00  |    |
| 火                 | 1.02 | 2.13 | -0.79 | 2.25 | 8.49  | ** |
| 水                 | 0.07 | 2.48 | -0.66 | 1.74 | 2.57  |    |

注) \*\*:1%有意 \* :5%有意 (GW-NW) Pillaiのトレース\*\* Wilksのラムダ\*\* Hotellingのトレース\*\* Royの最大根\*\*

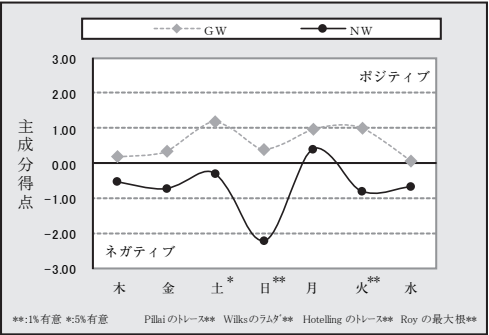


図5 気分の週間変動

た。①～⑥の要素ごとに見ると、「選択の自由性」の項目で差が認められなかったものの、それ以外の項目で有意な差が認められた。

「労働活動（クラブ運営）」は、「日常レジャー」「非日常レジャー」より、継続欲求度はより低く、より真剣で、より他の目的のために行い、より努力が必要で、レジャーや遊びとは別のものであると認識されていた。

クラブマネジャーにとって、クラブ運営は、自分がやりたくて行っているが、それだけではなく、地域や子どもたちのためといった、社会の役に立つという思いが込められており、これが動機の内外発性に表れたのではないかと考える。努力が必要で、レジャーや遊びとは別だと考えている点も興味深い。

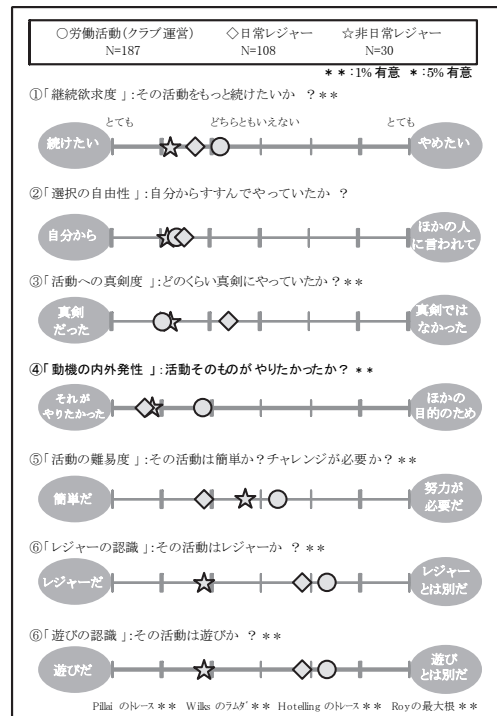


図6 労働活動（クラブ運営）の態度・考え方

## 5. まとめ

本研究は、ESMを用いて、クラブマネジャーの日常生活経験の実態を記述することを目的としている。具体的には、彼らが「何をして」「どのような気分」で過ごしているのか、神奈川県内にあるクラブの中から、有資格の5名のクラブマネジャーの協力を得て、ゴールデンウィークと通常ウィークの2週間にわたって調査を実施した。409場面の経験標本が分析の対象となった。

報告された行動のうち、クラブの運営に携わっている割合は38.32%で、クラブマネジャーにとってクラブ運営は、日常生活の中心的な活動であった。ゴールデンウィークと通常ウィークを比較すると、ほぼ変わらない活動を行っているという特徴が明らかになった。

日常の気分がどのようになっているかを、気分を表す10項目を用いる方法と、それら10項目の気分を主成分分析によって総合指標とする方法で分析した。総合指標（第1主成分得点）は、0.74と、ややポジティブな傾向だった。気分の10項目を見ると、「安定」「まんぞく」「やすらか」などの傾向にあるが、「ひま」ではない。

労働活動（クラブ運営）の気分の特徴については、総合指標は、「労働活動（クラブ運営）」が-0.91とネガティブな傾向にあり、「日常的レジャー」が0.89、「非日常レジャー」が1.60とポジティブな傾向にあった。これら3つの活動中の気分は有意な差が認められた。クラブ運営

は、レジャーとは別の気分で行われていることが明らかになった。

気分を一週間の変動でみると、通常ウィークは、日曜日に気分がネガティブになり、月曜日にポジティブになるという波形を見ることができ、これは、イベントや試合運営の多い日曜日に気分がネガティブになり、クラブマネジャーが休みをとる月曜日にポジティブになるためだと考える。レジャーと仕事が一体化しているクラブマネジャーの生活にも気分のリズムがあることが明らかになった。曜日別に見ると、土曜日と日曜日と火曜日に有意な違いがあった。クラブマネジャーの生活は、“余暇＝オフ”といった単純な切り分けが難しいと考えてきたが、気分は1週間の中でリズムがあり、ゴールデンウィークは、気分がポジティブだったことがわかった。

労働活動（クラブ運営）の認識は、「日常レジャー」「非日常レジャー」より、継続欲求度はより低く、より真剣で、より他の目的のために行い、より努力が必要で、レジャーや遊びとは別のものであると認識されていた。要素別に見ると、選択の自由性の項目のみ差が認められなかった。クラブ運営を、努力が必要で、レジャーや遊びとは別だと考えていることもわかった。

以上のことが本研究の結果である。今回は神奈川県在住の5名のクラブマネジャーから2週間分のデータを収集・分析するところまでしかできなかった。当然、クラブの規模や状況、地域性などによって日常生活経験は変わってくるものと考えている。今後は、様々な地域のクラブマネジャーからデータを収集し、日常生活経験をより詳細に記述していく予定である。もちろん、より正確にデータを収集する方法も考えなくてはならないだろう。その後、なぜそのような結果になるのかの説明ができる段階まで研究を続けて行きたい。

## 引用・参考文献

- 1) A. トフラー（田中直毅訳）、「生産消費者」の時代（NHK 未来への提言）、日本放送出版協会、2007
- 2) (財)日本生産性本部、レジャー白書2010、日本生産性本部、2010
- 1) 西野仁、中学生の1週間の生活リズムと「ゆとり」の構造について、平成11年度～13年度科学研究費補助金（基盤研究（C））研究成果報告書、2002
- 2) 西野仁、高校生の日常生活経験調査研究報告書、1998
- 3) 知念嘉史、生活行動場面（同伴者、場所、行動内容）と気分状態に関する研究—Experience Sampling Method を用いて—東海大学修士論文、1993
- 4) 西野仁、知念嘉史、吉川麻理子 ESM を用いた日本人青年の生活時間と行動調査研究の試み—その1 回答の状況と、回答の正確性に対する自己評価を中心として—東海大学紀要体育学部、No.24、1994
- 5) 吉川麻理子、大学生のレジャー経験について—ESN を用いて—東海大学修士論文、1995
- 6) 西野仁、知念嘉史、吉川麻理子 ESM を用いた日本人青年の生活時間と行動調査研究の試み—その2 回答内容についての検討—東海大学紀要体育学部、No.26、1996
- 7) 西野仁、知念嘉史 ESM を用いた日本人青年の生活時間と行動研究の試み—その3 調査項目間の検討：「レジャー」と認識する経験—東海大学紀要体育学部、No.27、1997
- 8) 西野仁、知念嘉史 ESM（経験標本抽出法）を用いた日常生活におけるレジャー行動研究の試み—日本人高校生の生活経験調査を事例として—1998年

- 9) 佐橋由美 ESM（経験抽出法）を用いた日常生活場面におけるレジャー行動とその経験の分析—40・50代既婚女性を対象として—樟蔭女子短期大学紀要, 文化研究第13号, 1999
- 11) Hitoshi Nishino, Will The Two-day Weekend Bring More Leisure (Yutori) To Japanese Adolescents?, Thesis Submitted For The Degree Of Doctor Of Philosophy In Leisure Studies In The Graduate College Of The University Illinois, 1997
- 12) Hitosi J.Nishino, Reed Larson, Japanese Adolescents' Free Time : Juku, Bukatsu, and Government Efforts to Create More Meaningful Leisure, NEW DIRECTIONS FOR CHILD AND ADOLESCENT DEVELOPMENT 2003, 23-35
- 14) Robert A. Stebbins, Serious Leisure, Transaction Publishers, 2006
- 15) Robert A. Stebbins, Amateurs, Professionals, And Serious Leisure. Montreal, PQ : Mc Grill Queen's University Press, 1992